

# 落合八幡神社千年の杜植樹祭

日 時:平成20年4月29日(火)

場 所:落合八幡神社境内

主 催:落合八幡神社千年の森づくり実行委員会

共 催:千年の森をつくる会・秦野市・毎日新聞社

世 話 人:出雲大社相模分祠・落合八幡神社

特別協力:秦野市森林組合

参 加 者:約700名

内 容:横浜国立大学名誉教授 宮脇先生の御指導のもと、約700人の参加者による  
5,000本(41種)の土地本来の樹木の苗木を植樹。

※ この事業は、財団法人国土緑化推進機構の助成を受けたものです。



4月29日午前、天気に恵まれ、約700名の参加者のもと、落合八幡神社千年の杜植樹祭が開催されました。はじめに、主催者である落合八幡神社千年の森づくり実行委員会の草山代表から開会のあいさつ、共催者及び来賓者のあいさつが行われました。

あいさつが終わると、横浜国立大学名誉教授 宮脇先生による植樹についての説明が行われ、参加者の方々は、興味深く説明を聞いていました。説明終了後は、いよいよ植樹の開始です。



宮脇先生の植樹についての説明を受けた後、参加者は、班に分かれ、それぞれの植樹場所へと移動して行きました。

植樹場所は、事前に地元の方や森林組合の方等により基盤整備を行いました。



それぞれの植樹場所では、植樹指導員の方により、苗の植え方についての説明を行いました。

皆さん真剣なまなざしで植樹指導者の話を聞いています。



いよいよ植樹の開始です。子どもから大人まで一緒になって、植樹する樹種を確認しながら、苗を植えて行きました。



中高木では、アカガシ、アラカシ、ウラジログシ、イロハモミジ、カクレミノ、サカキ、低木では、アオキ、アセビ、カンツバキなど全部で5,000本(高木3,690本、低木1,200)を植えることができました。



最後は、敷きわらのかわりに、雑草を生やさない、日照りで乾燥させない、雨で土を流させないなどの目的で、集めておいた落ち葉を苗のまわりにまきました。

植樹した苗が、自然の森へと育ってくれることを楽しみに植樹祭を終了しました。

参加していただいた方、準備をしていただいた地元の方、森林組合の方、ありがとうございました。